

脱炭素化について

上田染谷丘高等学校 1年 細川 耕佑

現在の日本の発電方法の割合

現在の日本では発電電力量の72.4%が火力発電でまかなわれています。ご存知の通り火力発電は石炭などを燃やして発電するので多くの二酸化炭素が排出されます。それに対して再生可能エネルギー発電の割合は20%ほどで近年では太陽光発電やバイオマス発電の割合が増えている。日本は四方を海に囲まれた海洋国であるため洋上風力発電が、注目されている。

脱炭素化に必要な資源

EVに搭載されているリチウムイオン電池や太陽光発電のパネルなどには、レアアースと呼ばれる資源が、使われています。脱炭素化が進む近年ではレアアースの、需要は増えている。しかしレアアースは、多くの放射線物質を含んでおりさらに精錬の際に多くの、温室効果ガスを排出してしまう。そのため温室効果ガスの発生量が極めて少ない方法で製造したグリーンアースが注目を浴びている。

CO2を最も多く排出する産業

CO2排出量の約四割は、製鉄業から出ています。これは製鉄時に鉄を溶かすために多くの石炭を、使用するためです。また運送業などでも約2割のCO2が、排出されています。

結論

これらから脱炭素化に必要な資源を、作るだけでもかなりの温室効果ガスを、排出することが、わかったので自分は太陽光発電のパネルなどを、設置する際にその原料が温室効果ガスの排出が、少ない方法で製造された原料か確認しやすいようにしたらいいと思います。